

製本のススメ

Vol. 40

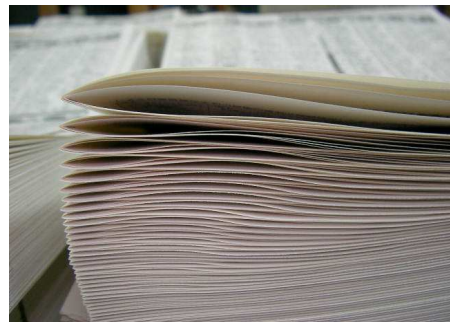
GWは終わっちゃったし、祝日は7月までオアズケだし、あ〜あ何だかつまらないな遊びに行きたいな〜と言うのが、この時期ですね。こんな時こそ、遊ぶ事はスッパリと諦めて、楽しい夏に思いを馳せつつ まずは目の前の仕事をキチンとこなしましょう。この時期の頑張りは、夏のボーナス査定に好印象を残すはず！

今回は**修正できない不具合**のお話

何度か話題にしている典型的なトラブルですが『**ボトリングとクリープ**』について(わざわざカタカナにしなくても、と思いますが)お話をいたしましょう。毎回のようにしつこく書いている**用紙の紙目・針・クワエ・見開きの絵合わせ・左開きは天袋！**等は、このトラブルと密接な関係に有るといっても良いでしょう。

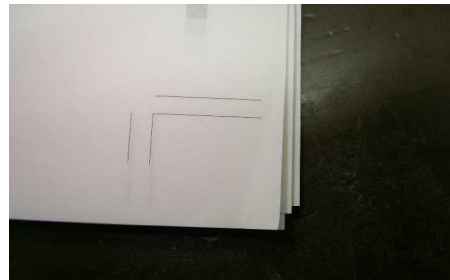
ボトリングとは？

用紙を折るたびに内側の紙がたわんで(弧を描くように)いく現象の事です。たわんだまま、プレスをかけると折ジワの原因になります。特に16頁や32頁の折に多く発生します。



クリープとは？

用紙を折るたびに内側の紙が小口側にズレて飛び出してくる現象の事です。特に紙の厚みがあると、顕著に現れます



次回からこの二つについて、順番にお話しをしていきます。乞うご期待！



Teabreak

「金唐紙(キカガミ)」と言うのを知っていますか？素材は和紙で、これに錫箔を貼りワニスを塗ると、まるで革に金箔を貼った様な美しい紙が出来上がります。江戸時代に確立された技術は、明治には壁紙として外国で珍重されていました。和紙にこんな技術があったのかと、目を見張ります。素晴らしきジャポニズム。現存の物は上野の岩崎邸庭園で見ることが出来ます。ぜひ一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

by (株) 井関製本